

たのしい

2019.11.7

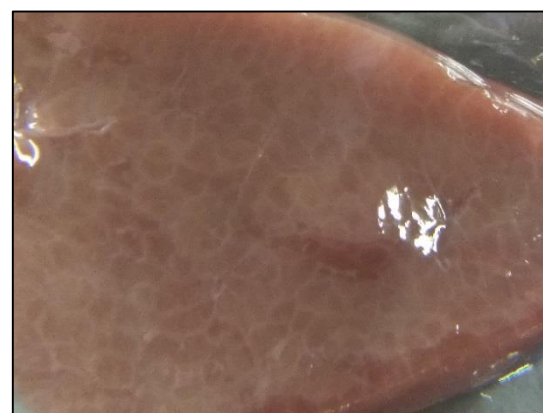
# サイエンス通信 (24)

## 豚レバーを観察してみよう

### ～自宅で、Let's 解剖 Part 3～

スーパーで、スライスされた状態で手軽に買える豚のレバー。これはブタの肝臓をスライスしたものです。この表面をよく観察してみましょう。白い網目模様が見えます。自宅に虫眼鏡などがあつたらそれを利用してみると、よりはっきりと観察できます。

左の写真はブタのレバーを台付ルーペで観察している様子で、右はその時に観察できた網目模様です。

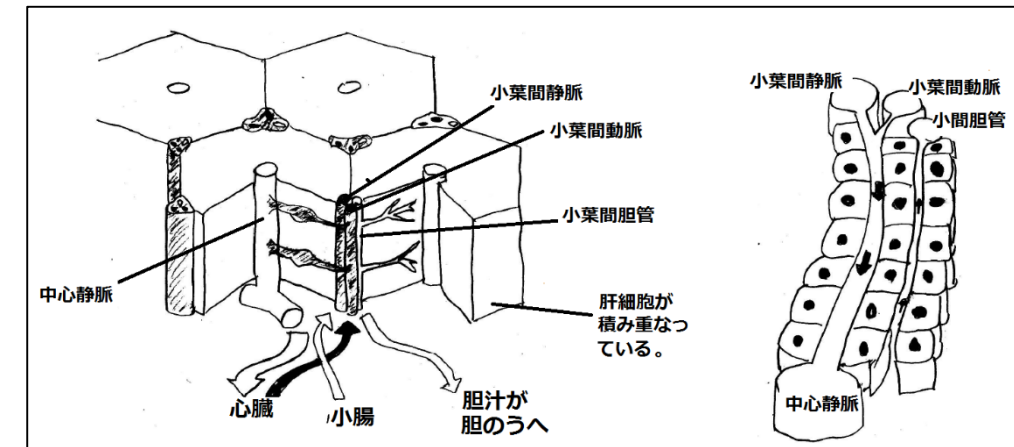


この網目模様の内側は肝小葉と呼ばれ、肝臓に入ってきた血液の状態を一定に保つための機能があります。ヒトの肝小葉は50万個ほどの細胞の集まりで角柱状をしています。肝臓には肝小葉が約50万個あります。

(注)ルーペでの観察では、肝小葉をどの方向から切ったかは確かめられません。

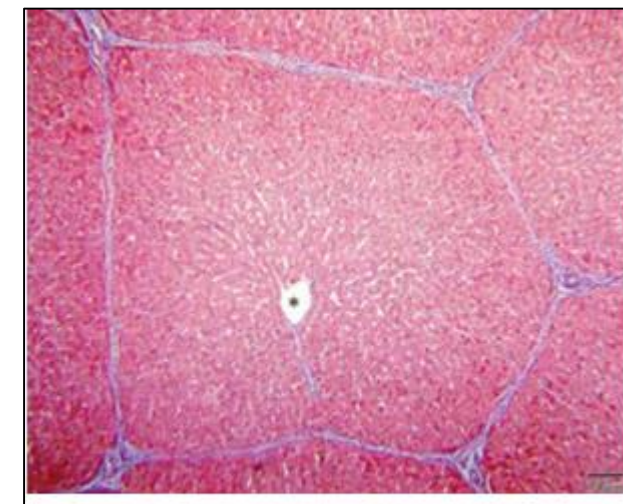
肝小葉は下の図のように、辺縁に血液を送り込む血管があります。送り込まれた血液は肝細胞の間を通り、状態を整えられ中心にある中心静脈へ向かい排出されていきます。

肝臓には胆汁をつくるはたらきがありますが、胆汁の流れは逆で、幹細胞でつくられ、辺縁の小葉間胆管へ向かいます。



右の写真はブタの肝臓組織のマッソントリクロム染色像で、小葉間結合組織は青く明瞭に染色され、肝小葉が観察しやすくなっています。中心には白い像で中心静脈が観察できます。

ちなみにブタは小葉間結合組織が発達しているため観察に適しているが、ウシなどは観察に適さない



写真提供  
日本獣医生命科学大学 尼崎肇名誉教授

謝意

本稿の作成に際しては日本獣医生命科学大学名誉教授の尼崎肇先生よりご助言をいただきました。